

鬼北町立広見中学校

道德通信

道德主任 酒井 智有

NO. 52

令和8年3月17日発行

よりよく生きる



3年生 祝 卒業！！



本日は、3年生の卒業式です。3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。3年生に配付する道德通信は、これが最後の発行です。今年度の広見中学校の全ての活動は、道徳的な視点から振り返ってみても、3年生の頑張りにより、素晴らしい成果を残して終えることができました。3年生の、道徳的な視点から見た活躍を紹介したいと思います！！

【道德の授業】

道德の授業において、3年生の取り組む姿はすばらしかったです。しっかりと自分で考えられた意見や感想などは、1・2年生も道德通信で読んでおり、先輩がどのような考えを持っているのか、参考にしていた生徒も多かったと思います。今年度、道德教育推進事業推進校中間発表会の授業が素晴らしいものになったのも、3年生が日々、授業で真剣に考え、議論していき、それが学校の伝統としてつながっていった成果だったと感じています。

【各種行事】

今年度も、体育祭や文化祭などの行事は、大成功に終わりました。3年生が、あらゆる場面で活躍を見せていました。行事を成功に導いた要因には、「自主、責任、節度、向上心、創造、思いやり、感謝、友情、信頼、相互理解、公正、公平、よりよい学校生活、集団生活の充実、伝統と文化の尊重」などの道德の内容項目において、3年生が持っている資質と、中学校生活の学びから得た成長があったからだと感じています。1・2年生にとって、3年生の姿は、とても頼りになり、見習うべき存在となっていました。

【学校生活全般】

3年生は、学校生活全般において、常に「よりよく生きる！」という気持ちを持って生活することができていました。よりよく生きるための基盤となるのは、道徳性を養うことだと思います。3年生は、道徳的な判断力、心情、実践意欲、態度を、日々の生活体験から学び、そしてそれらを基に成長を遂げていきました。3年生の姿から、いかに日々の実践の積み重ねが大切かということを私も再確認させていただきました。日々の地道な取組を通して、道徳性を養っていく3年生の姿勢は、本当にすばらしかったと思います。

9年間の義務教育を終え、これから3年生はそれぞれが新たな道を進んでいくことになります。3年生の皆さん、生きていく上で道徳はとても大切なものとなります。道徳は、人生を豊かに送るための大きな基礎になっていくと思います。これからも、自分自身に関すること、集団や社会との関わりに関することについてしっかりと目を向け、よりよい生き方を目指していきましょう。卒業生が、今後、立派な社会人となって、それぞれの場で活躍していくことを期待しています！！

これからの、3年生の活躍を、心から応援しています。卒業、おめでとうございます！！